

少ない緑地管理予算

生田緑地の維持管理費について

Q. 三宅隆介 現在、本市はゴルフ場事業特別会計から1億3000万円を一般会計に繰り越し、生田緑地の維持管理費用に充てています。管理許可使用料の減免措置がとられている公園緑地協会への算定根拠と額を示してください。また、一般会計への繰り出し金は増額するのか？

A. 環境局長 都市公園条例では、管理許可使用料は駐車場では1ヶ月1平方メートルあたり150円、売店、レストランでは100円です。
平成3年には50円、平成11年に40円に減額しました。
繰り出し金の増額は生田緑地を良好に管理する上で貴重な財源です。なるべく早い時期に減額相当部分を解消し、繰り出し金の増額に充てます。

三宅隆介の視点

横浜市と本市の公園管理費用は、17年度ベースで横浜市は公園緑地面積1平方メートルあたり393円（55億4960万円）、川崎市は270円（17億1270万円）です。

仮に、川崎市の維持管理費を横浜市と同じ1平方メートルあたり393円で換算すると、本市では7億8000万円ほどが不足する計算となります。本市の公園管理費用の予算は明らかに不足しています。

高校での日本史必修化を

Q. 三宅隆介 神奈川県をはじめ1都3県の教育委員会が高校における日本史の必修化を具現化するために、指導要領の改訂を文部科学省に要請しています。本市としても足並みを揃えて強く要請すべきではないですか？

A. 教育長 3都県教育委員会の推移や国、他県の動向を見ながら、市立高校の特色を生かすという視点から研究してまいります。

三宅隆介の視点

歴史は国や民族の履歴書であり、日本人が日本人である事を自己確認するための重要なファクターです。また、教育の究極的な目標は国民にプライドを与えることに尽きます。たとえば、明治維新に成功した日本が僅かな期間のうちに有色人種で唯一の近代国家をつくりあげたこと、そのこと一つをとっても私たち日本人には誇るべき歴史です。

どこの国でも、自分の国に誇りをもつような歴史教育が行なわれています。韓国では自国の歴史を韓国史、朝鮮史とは呼ばず、戦前の日本がそうであったように「国史」と呼んでいます。自分の国に誇りをもたせ、いかに韓国という民族が優れた民族であるかということを歴史を通じて教育しています。プライドの問題だけでなく、自国の歴史を知らなければ他国の人々の気持ちに立って物事を思索することも不可能であると考えます。

その他の質問事項

電気自動車の開発・普及構想について
市内看護教育の拠点づくりについて